

## えひめの歴史文化モノ語り

県歴博収蔵資料から ⑩

大阪の駿々堂（しんしんどう）から発行された大正時代の四国遍路地図。本図は上方向を北とし、方位が記載されているが厳密な地図ではなく、四国遍路の全

体像を分かりやすくした。道筋、札所間の距離（里丁）、

番外札所、名所旧跡、鉄道および停車場、電気軌道、道路、都市、宿駅、河川、灯台および海岸、港、上陸港と札始め・打ち留め情報などが記載されている。

「四国参拝は順に一番より始めるも逆に八十八番よりなすも中途何れの札所より始めても随意」と記され、伊予（愛媛県）の上陸地は「八幡浜、豊後、日向以南、九州南部ハ凡て八幡浜に上

航路や鉄道などの公共交通機関を活用した近代の四国遍路の姿が見て取れる。

地図上で伊予の巡拝ルートを確認する。40番観自在寺から65番三角寺までの26カ寺の札所の他に、高野山仏眼院（愛南町）、龍光院、和霊神社（宇和島市）、出石寺、十夜ヶ橋（大洲市）、文殊院、衛門三郎旧跡、道後温泉松山市）、遍照院、高野山出張所（今治市）、臼井御来迎、日切大師、生木地藏、清楽寺、石鏡山（西条市）、仙龍寺（四国中央市）などの番外霊場や名所

## 人気の番外・旧跡伝える

陸が便利なり」「三津ヶ浜九州北地方ハ五十二番の

「今治 中国路は五十五番の南光坊より始むるがよし」と紹介されている。また、鉄道では伊予鉄道や1914（大正3）年に宇和島―近永間が開通した宇和島鉄道の路線が掲載され、

大正時代の四国八十八カ所霊場の案内地図。当時の遍路の巡拝ルートや人気スポットがよくわかる。民俗展示室3「四国遍路」で常設展

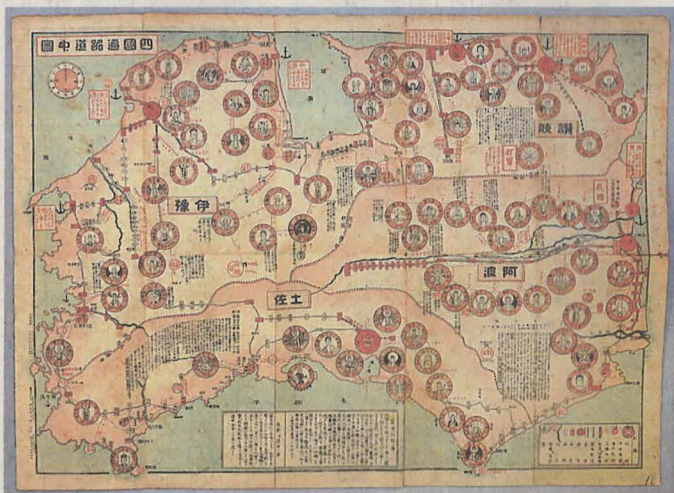
大正時代の四国八十八カ所霊場の案内地図。当時の遍路の巡拝ルートや人気スポットがよくわかる。民俗展示室3「四国遍路」で常設展

本図は近代の四国遍路の実態を示し、昭和（戦前）の代表的な四国遍路地図として札所周辺の仏具店等で売られた「四国遍路道中図」を受け継がれた。

（専門学芸員・今村賢司）

〈随時掲載します〉

## 大正時代の四国遍路地図



大正時代の四国八十八カ所霊場の案内地図。当時の遍路の巡拝ルートや人気スポットがよくわかる。民俗展示室3「四国遍路」で常設展